

広島派遣研修を振り返って

能生中学校 2年 中嶋 美結

私は8月に行われた中学生広島派遣研修に参加し、原爆投下の恐ろしさを学び、平和について考えてきました。その中でも私が心に残っているものは3つあります。

1つ目は、平和記念公園の見学です。各学校で心を込めて作った鶴を献納し、その後、平和記念公園を見学しました。平和記念公園を見渡してみると、たくさんの人たちが鶴を献納していて、たくさん的人人が80年前の広島について考えていることを感じられました。その後、被爆遺講展示館を見学しました。被爆遺講展示館では当時の住宅跡や道路跡などが露出展示されていて、原子爆弾の威力の大きさを感じました。80年前に起こった悲惨な出来事を忘れてはならないことを改めて感じ、平和についてこれからも考えていきたいと思いました。

2つ目は、被爆体験講話です。講話者である佐伯さんから、佐伯さんの家族の被爆状況や、当時の広島の様子について教えてもらいました。原爆が投下されたときは、目の前が眩しい光で覆われ、大きな音が鳴り、建物が揺れ始め、10秒ちょっとで爆風がきたそうです。お話を聞き、当時の出来事を想像してみると、原爆投下がどれだけ悲惨な出来事かと改めて感じることができました。原爆投下から80年経ち、お話を聞ける機会が少なくなった今、私たちが今回学んだことを次の世代へ伝えていきたいと思いました。

3つ目は、平和記念資料館の見学です。平和記念資料館は、1994年に展示・

収蔵機能や平和学習の場を充実させるために作られました。被爆前後の広島や原爆が投下された経緯などが模型や映像などで紹介されていました。展示されていた遺品からは原爆の恐ろしさを目で改めて感じることができました。特に、放射線による被害はとても恐ろしいものだと感じました。原爆から放出された大量の放射線は人々の体を蝕み、被爆直後に広島市内にいた人々には高熱や下痢、脱毛といった症状が現れ、ひどい人には皮膚に紫色の斑点が現れた人もいることを知り、胸が苦しくなりました。二度と原子爆弾が投下されないように、幸せに暮らせる人が増えるように、私たちにできることがあれば少しずつしていきたいと思いました。

広島派遣ではたくさんのこと学び、考えることができました。今回学んだことを成長につなげ、学校の仲間をはじめ地域の方々や家族に伝え、平和の大切さを広げていきたいです。そして、1日1日を大切に笑顔でこれからを過ごしていきたいです。